

4月の園だより

令和6年4月1日
目黒区立ひもんや保育園長

～入園進級おめでとうございます～

3月末のある日、園庭に築山を作りました。職員数名で土を運び裸足で踏み固めていると、園庭に出てきた2歳児が「何しているの？」と興味津々で見えています。「登っていいよ」と言われると職員と同じように裸足になって登り「気持ちいい」と満面の笑みで両手を広げています。「冷たいな」と土の冷たさを感じながらも、友達と一緒に何度も登っては下り、繰り返し楽しんでいました。後から出てきた5歳児は、職員が一生懸命土を踏み固める様子を見て「僕たちに任せて」と手足で踏み固め手伝ってくれました。その日の夕方、幼児クラスの担任が、子どもと一緒に園庭の端から走って築山に登り駆け下りては笑い合っている姿がありました。子どもたちが五感を使って遊ぶ中で、様々なことを発見し工夫したり楽しんだりできるよう、大人も一緒に遊び“楽しい”を共感しながら見守っていきたいと思います。

今年は、7名の子どもたちが入園し新年度がスタートしました。日々の生活の中で子どもたち自身が各年齢なりに生活の見通しを持ったり、自分で考えて行動したりする経験を大切にしていきます。また、子どもたちの「こうしたい」という思いに寄り添い、一人ひとりが自分の気持ちを聞いてもらえたと感じられるよう、職員皆で力を合わせ見守っていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

4月の行事予定

新入児説明会（新入児保護者）
入園進級お祝い会（全園児）
全体保護者会（全園児保護者）
中旬 身体計測 避難訓練

5月の行事予定

4・5歳 春の遠足
5歳児クラス懇談会
4歳児クラス懇談会
2歳児クラス懇談会
1歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会



玄関ホール紹介



【ひもんやファームランド】

園庭や園舎裏の畑で育てている栽培物を紹介しています。収穫したものを食べたり、調理したり活動の様子も載せていく予定です。



【絵本コーナー】

貸出し用の絵本を置いています。貸出し用ノートに記載の上、ご自由にご利用ください。一回三冊程度、一週間をめぐりに返却をお願いします。



【サンプルケース】

給食やおやつサンプルを提示しています。幼児クラス、乳児クラス、それぞれ年齢に合わせた食事形態や量の参考にしてください。



一年間大切にしたいこと



つくし組（0歳児クラス）

初めての環境での生活が始まります。“お腹すいた”“眠い”などの欲求を受け止め、優しく話しかけスキンシップを取りながら、お子さんが安心して過ごせる「**第二のマイホーム**」でありたいと思います。生活や遊びの中でいろいろなものを“見て・聞いて・触れて”五感で感じたことに共感していきます。保護者の方と一緒にお子さんの成長を喜び合いながら成長を見守っていききたいと思います。



すずらん組（1歳児クラス）

自分の足で歩く喜びを感じながら探索を楽しんでいる子どもたちです。安心できる保育士と一緒に遊ぶ中で「**ふしぎ発見!**」子どもたちの“なんだろう”という発見や喜びに保育士も共感しながら「楽しかったね」と満足するまで遊ぶ経験を積み重ねていきます。また“自分で”の気持ちに十分寄り添い、子どもたち一人ひとりの育ちを大切にしていきます。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

自分の気持ちを子ども一人ひとりが仕草や表情など様々な表現で伝えてくれる姿があります。その気持ちをくみ取り、心を通わせながら子どもたちの思いを大切にしていきます。「**レッツ・トライ!**」子どもたちが自由に遊び、何でもやってみたいという気持ちを大切に、ワクワクした毎日が過ごせるようにしていきます。

たんぼぼ組（3歳児クラス）

たんぼぼ組は目の前が園庭です。「**とびだせ、たんぼぼ!**」朝から日が暮れるまで園庭に出て体を動かして遊びたいと思います。砂、水、泥や季節の自然物にたくさん触れ、子どもたちが感じる不思議、発見、気づきに保育士も一緒に驚き、共感しながら遊びを深めていきます。子どもたちの「楽しいな」という気持ちを大切にしていきます。



こすもす組（4歳児クラス）

友だちと遊ぶことが大好きで、ごっこ遊びも楽しんでいます。時には思いがぶつかり合うこともあります。保育士が互いの思いを聴きどうしたら良いか一緒に考えながら、友だちと遊ぶことが楽しいと思える経験が重ねられるようにしていきます。「**ホップ・ステップ・ジャンプ!**」まずは“やってみよう”につながるように楽しんでいます。

ひまわり組（5歳児クラス）

「**みんな一緒に・・・**

でも、みんなちがってみんないい」

仲間といろいろな活動に取り組む中で「こうしてみたい」と、自分で考え、自分で行動し、感じていながら自分らしさを十分発揮できるようにしていきます。その中で、友達と思いや考えを伝え合い、同じ目的に向かって協力したり、互いの良さに気づく経験も重ねながら充実感や満足感が味わえるようにしていきます。

